

# 令和元年度事業報告

区報 新庄 水土里ネットしんじょう

## 1. 新庄土地改良区の状況

(1)受益面積 3,060.1ha (2)組合員数 1,568人

## 2. 各事業の実施状況

### (1)基幹水利施設管理事業(清水地区)

◇事業主体:山形県 ◇事業費:109,100千円  
◇負担割合:国(30%) 県(40%) 市(10%) 区(20%)  
◇対象施設:清水揚水機場、駒場頭首工、国営第1号  
幹線用水路上流部等  
◇事業内容:山形県より施設管理を受託し、各施設の  
点検整備を実施し、電力料及び施設管理  
人件費を支出した。

### (2)基幹水利施設管理事業(小月野地区)

◇事業主体:山形県 ◇事業費:14,700千円  
◇負担割合:国(30%) 県(40%) 市(10%) 区(20%)  
◇対象施設:小月野揚水機場  
◇事業内容:山形県より施設管理を受託し、各施設の点検整備を  
実施し、電力料及び 施設管理人件費を支出した。

### (3)国営造成施設管理体制整備促進事業

◇事業主体:新庄市 ◇事業費:19,000千円  
◇負担割合:国(18.75%) 県(9.375%) 市(9.375%) 区(62.5%)  
◇対象施設:(1)(2)以外の国営幹線用水路、県営用排水路、  
県営揚水機場、中央管理センター等  
◇事業内容:新庄土地改良区が管理主体となり、各施設の点検  
電力料及び施設管理人件費を支出した。

### (4)県営農業競争力強化基盤整備事業(中山間地域型)

◇事業主体:山形県 ◇事業費:25,000千円  
◇負担割合:国(55%) 県(27.5%) 市(10%)、地元(7.5%)  
◇事業内容:高壇地区(19.7ha)の測量設計・換地業務、  
排水路工(L=305.7m)、調整水槽(1箇所)  
の設置工事を実施した。

### (5)県営農業競争力強化基盤整備事業(経営体育成型)

◇事業主体:山形県 ◇事業費:14,000千円  
◇負担割合:国(55%) 県(27.5%) 市(10%) 地元(7.5%)  
◇事業内容:鶴の子地区(23.6ha)測量設計・換地業務を実施した。

### (6)県営地域用水環境整備事業(小水力発電)

◇事業主体:山形県 ◇事業費:23,000千円  
◇負担割合:国(50%) 県(25%) 市(10%) 区(15%)  
◇事業内容:鳥越地内調整工における小水力発電の実施設計



### (7)団体営農地耕作条件改善事業

◇事業主体:新庄土地改良区 ◇事業費:7,000千円  
◇負担割合:国(55%) 県(30%) 地元(15%)  
◇事業内容:向田地内農地の畑地化を目的とし暗渠及び  
補助暗渠工事を実施した。

### (8)農村地域防災減災事業調査計画事業(小泉ため池)

◇事業主体:新庄土地改良区 ◇事業費:6,000千円  
◇負担割合:全額国費  
◇事業内容:小泉ため池整備(ハード)事業実施に向けた概算工  
事費及び費用対効果等の算定、事業計画書並びに  
事業計画概要書作成を実施した。



農地耕作条件改善事業

### (9)農村地域防災減災事業調査計画事業(吉沢大堤)

◇事業主体:新庄土地改良区 ◇事業費:6,000千円  
◇負担割合:区(100%)  
◇事業内容:吉沢大堤整備(ハード)事業実施に向けた  
概算工事費及び費用対効果等の算定、  
事業計画書並びに事業計画概要書作成を実施した。



吉沢大堤耐震工事説明会

### (10)新庄土地改良区単独維持管理事業

◇事業主体:新庄土地改良区 ◇事業費:48,107千円  
◇負担割合:区(100%)  
◇事業内容:対象施設の点検整備を実施し、電気料及び施設管理  
人件費、各地区維持管理交付金等を支出した。また、  
平成30年度豪雨災害復旧工事を実施し、  
新庄土地改良区管内全ての復旧工事が完了した。  
五日町排水路法面復旧工事 : 324千円  
清水下堰取水口補修工事 : 1,620千円  
福宮用水路補修工事 : 529千円  
堤沢ため池取水口土砂浚渫工事: 199千円



消流雪用水検査

## 3. その他の事業及び取り組みについて

### (1)新庄市消流雪用水事業

◇指首野川の水位が低下した1月7日～2月26日までの内14日間、  
朝晩各2時間、毎秒0.5m<sup>3</sup>(総量は前年度の1.13倍の112,450m<sup>3</sup>)  
を通水し、新庄市街地の排雪対策に貢献した。放流場所は、  
中の川(梅ヶ崎)、指首野川(向陽幼稚園)、  
円満寺地区(7-3分水工)の用水路となっている。



秋のイバラトミヨ塾

### (2)イバラトミヨの保全活動等

◇北辰小学校4年生、野中・中川原集落と連携し、春夏秋冬  
年4回のイバラトミヨ塾を開催し、地域一帯となつた  
絶滅危惧種イバラトミヨの保全活動を実施した。